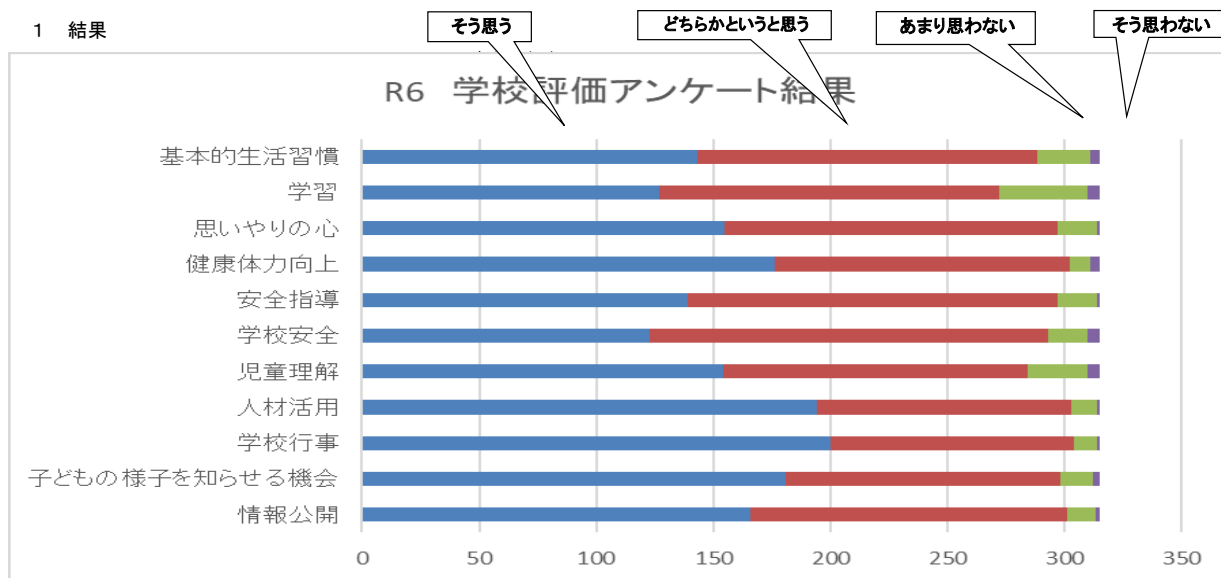


令和6年度 学校評価アンケートの結果と考察

千葉市立都小学校

令和7年1月に実施いたしました学校評価アンケートの結果と考察がまとまりましたのでお知らせいたします。この結果を参考に、今後の教育活動に生かしてまいります。アンケートにご協力いただきました、保護者の皆様、ありがとうございます。

1 結果



2 考察

【調査1 生活習慣】 昨年度より1.4P増えた。生活習慣に課題を抱えている児童の年齢が低下してきた。（深夜まで起きていて朝起きられない・45分間座ってられない等）保護者や外部機関と連携し改善に努めていく。また挨拶については、自分から積極的に行う児童が増えてきた。今後も意識を高めていく。

【調査2 学習】 昨年度とほぼ同率の結果だった。各学年ごとに教科交換授業（社会・図工・道徳・家庭・書写）において、教師の専門性を生かした学習指導を行った。その結果、より追究した教材研究を行うことができ、児童に楽しい授業・わかる授業を提供できた。また音読やドリル及びギガタブを使つての家庭学習等の実施など統一した取組で学力向上が図れるように取り組めた。2月に実施予定の学力テストの結果などから取組の成果と課題を把握し、来年度の取組に生かしていく。また、専科授業や交換授業等の充実及び継続により、基礎的基本的な知識・技能を定着させる。

【調査3 思いやりの心】 昨年度とほぼ同率の結果だった。思いやりや感謝の気持ち等を育てるために道徳・学級活動での指導を図った。地域の皆様や保護者への感謝の気持ちやお互いを思いやる気持ちを持てるよう引き続き指導していく。学校の諸活動を通じて、学年に応じた行動や振る舞いができるようにするとともに、交流を深める場を模索し、優しさや感謝の気持ちを引き続き育てていく。

【調査4 健康・体力向上】 昨年度より1P増えた。前年度の千葉市平均と比較すると、昨年度とあまり変わりはないものの、全体的に体力・運動能力が低下傾向にあるので、次年度は体育科での公開研究もあるので、重点的に取り組めるように活動を行っていききたい。また、保健指導や保健学習等を学校医を招き計画的に実施した。引き続き適切な時期に保護者にお知らせをするなど、家庭と連携した取組を進める必要がある。2月現在長欠児童が21名いる。（不登校8名）家庭訪問をしたり外部機関と連携したりと現在行っているものの、なかなか減少はしない。引き続き支援をしていく。

【調査5 安全指導】 昨年度より1.5P減少した。交通安全指導の徹底を、今後も市教委及び警察などの外部機関や地域・保護者の方と連携をしつかり取っていくことで、学区の安全性を高めていきたい。また今年度はSNSによる課題も増えてきた。次年度は初期にネット安全教室を保護者・児童共に行う予定である。次年度も児童にはさまざまな事態を想定し、実態に応じた実効性のある訓練を適切にできるよう検討していく。

【調査6 学校安全】 昨年度より1P増えた。今年度は門扉が開いた状態が続いていると保護者の方からのご指摘があった。今後は気を付けていく。PTA・後援会・子ども会・おやじの会などのご協力をいただき、今年も側溝掃除等の環境整備ができた。今後も校舎内外の安全点検を確実にし、子どもたちが安心して学べる環境を整えていく。また、子どもたちにも自主的な清掃活動やボランティア活動等を通して自校に対する愛着心を育てていきたい。

【調査7 児童理解】 昨年度より1P増えた。子どもたちが楽しく学校生活を送ることができるように、今後もより一層、児童理解に努めたい。指導が必要な場面では、一斉指導・グループ指導・個別指導等、指導形態を工夫し、複数の教職員で対応するなど児童の心に響く指導を心がけていく。また今年度はSNSや金銭のトラブルが昨年度より多くなった。外部機関とも連絡を図り、指導を行っていく。

- 【調査8
人材活用】 昨年度とほぼ同率の結果だった。「米作り体験」・「昔の暮らし体験」や「昔のあそび体験」・「モルック大会」・「オータムキャンプ」・「いちようまつり」・「たこあげ」等、地域の皆様にご協力をいただいている活動は、本校の特色ある活動となっている。そこで、今後も持続可能な方向性を模索しながら、より諸活動が充実できるように人材を確保していきたい。
- 【調査9
学校行事】 昨年度とほぼ同率の結果だった。学校行事の今後の在り方を検討し、新しく形式を変えて持続可能な行事として実施した。本校では保護者や地域の方の協力により充実したものとなっている行事も多い。今後も、それぞれの行事の目的や意図をご理解いただき、児童の実態に即した持続可能な行事の可能性を検討しつつ、必要に応じて地域の皆様と連携を図っていきたい。
- 【調査10
学習参観】 昨年度とほぼ同率の結果だった。学習参観や懇談会等の実施が制限なく開催したが、1月に行った懇談会では参加人数が少なかった。（学級によっては1・2人）今後も参観時期や方法については検討していきたい。役員の皆様や保護者の皆様と連携し、より多くの皆様に子どもたちの活動を参観していただけるよう準備していきたい。
- 【調査11
情報公開】 昨年度とほぼ同率の結果だった。学校の教育活動の様子や意図を保護者や地域の方に理解していただく大切なことなので、より伝わるよう便りの内容や「すぐーる」・HP等にて発信をしていく。しかし読んでいただけないご家庭も多く、内容の検討・精選を行う必要がある。また、自然災害や感染症予防対策等に対処すべく『すぐーる（連絡メール）』加入100%に向けてご協力をお願いしていきたい。